

歯科材料 08 歯科用石こう及び石こう製品
一般医療機器 歯科高温鋳造用埋没材(70900020)

ネオホワイト

【形状、構造及び原理等】

- (1)形状 粉材:粉末状、液材:透明液体
(2)成分 本材の成分は以下のとおり。

構成名	成分
粉材	珪砂、酸化マグネシウム、リン酸アンモニウム、クリストバライト、その他
液材	コロイダルシリカ、水

※天然材料の珪砂を使用しているため黒色の粒子を含むことがあります。使用上の影響はありません。

【使用目的又は効果】

本材は、マグネシア、リン酸塩、コロイダルシリカを主成分とする高温鋳造用埋没材である。

**【使用方法等】

- 本粉材100gに対し、本液材15ml(16.6g)とし、練和する。
- 練和は、全体が均一になるように20秒間行う。その後、真空にて30秒間練和する。
- パイプレーターなどを用い、気泡の混入を最小限に抑えて鋳造用リングに注入する。
- 注入後およそ1分で硬化する。硬化したのち(埋没後1時間経過した後)、ワックス焼却炉に入れ、室温から300℃まで徐々に昇温し、およそ300℃で40分間係留し800℃まで約1時間かけて昇温後、1時間係留し、ワックスパターンを焼却する。

**【使用方法に関する使用上の注意】

- 練和用容器は石膏系埋没材との併用は避ける。硬化時間に影響を与えることがあるため、専用容器を使用のこと。
- 本材は温度によって硬化時間、膨張率が変化するため、粉材、液材の温度は21℃~25℃に保つこと。
- 練和は気温が低い冬季には長めに行うこと。
- 専用液を蒸留水で希釈することにより、埋没材の総膨張量を調整することが可能。専用液のみで練和した時、最大膨張が得られる。専用液を用いずに、蒸留水のみで練和した時は、最小膨張となる。なお、専用液濃度を希釈して使用することにより、鋳型の強度は低下する。
- 粉は吸湿性のため、使用後は速やかに密閉のこと。

【使用上の注意】

1) 使用上の注意

- 本材は、耐火模型製作禁止である。
- 本材を練和する時は、専用容器、専用スバチュラ、専用ヘラを使用すること。
- 本材はシリカを含有するため、長期にわたって吸入すると肺が損傷される可能性がある。扱う際(硬化体を研削する場合も含む)には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- 本材の硬化体及び鋳造物を研削する際には、目の損傷を防ぐために、保護メガネなどの防具を使用すること。
- 本材及び本材の硬化体が目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。
- 本材を加熱する際には、局所排気装置、換気扇などを設けて、密閉した部屋での作業を避け、加熱によるガスを吸入しないこと。
- 他社製品との併用はしないこと。本材粉材には本材液材を使用すること。
- 専用液を希釈して使用すると鋳型の強度が低下するので注意すること。
- 標準粉液比を守って使用すること。
- 本材使用前、使用中に異物混入などの不具合が生じた場合は、使用を中止すること。

2) 重要な基本的注意

- 本材に対して発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。
- 本材に対して発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状があらわれた場合には、使用を中止し、医師の診断を受けること。

*【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 本材は、高温・多湿の場所を避けて保管すること。
- 本材は、4℃以上で保管すること。寒冷地では冬季に凍結しないように注意すること。(解凍しても再度使用出来ないため)
- 本材使用中、使用後は、開封状態で放置しないこと。
- 開封後は、密閉して保管すること。
- 本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

*【使用期限】

- *EXP. XXXX-XX-XX は使用期限 XXXX 年 XX 月 XX 日を示す。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 山八歯材工業株式会社
電話番号 : 0533-57-7121
FAX番号 : 0533-57-1764
e-mail : box@yamahachi-dental.co.jp